



Rotary

第2730地区

宮崎中央ロータリークラブ

ROTARY CLUB of MIYAZAKI-CHUO



# 週報

今月のテーマ

第1391回例会

2015年7月9日 Vol.30/No.2

## ■本日の例会

第1392回 平成27年7月16日(木)

- 会長・幹事・各委員会報告
- 入会式
- 新年度活動方針…職業奉仕、小委員会

## ■前回の例会

第1391回 平成27年7月9日(木)

- 会長・幹事・各委員会報告
- トライアスロン
- 新年度活動方針

## 【出席率状況報告】

- ・会員数 49名
- ・出席者 36名
- ・欠席者 13名
- ・出席率 73.47%
- ・1/250補正出席率 70.59%

## ■会長挨拶

会長 藤原昭公



皆さん、こんにちは。本日の例会から数回に分けて初期のロータリーの歴史についてお話をさせていただきます。

1905年、シカゴの青年弁護士ポール・ハリスによりシカゴロータリークラブが誕生しました。ポール・ハリスは評判の良い弁護士で彼の事務所は大変繁盛していましたが、彼自身は淋しい毎日を送っていました。当時、弁護士を訪ねてくる依頼者は多かれ少なかれ、欲深で利己的な人が多かったのです。彼は純真な心の持ち主でしたので、そうした人たちの相手をする毎日に淋しさを募らせ、心から気持ちを許せる友達が欲しかったのです。そこで、彼は会員がすべて違う職業なら、言いたいことが言い合える、お互い助け合える楽しいクラブができるのではないかと考えました。そして1905年2月23日、ポール・ハリスはガスターバス・ロア、シルベスター・シール、ハイラム・ショーレーの4人で最初の会合を持ち、一業種一人、相互扶助の二つを原則とするクラブ設立を確認しました。3月23日に第3回目の会合が開かれ、参加者は9人になっていました。初代会長にシルベスター・シールが選ばれ、会員の資格に関する原則として、4回連続して欠席した者は自動的に会員資格を喪失することを決定しました。クラブ名称は役員も例会場も持回りなのでロータリークラブとしました。親睦と互惠関係を構築する為に、第一に、物を買うときは会員から買うこと、注文を受けた会員は利益を計上せず原価で取引をすること、そして、誰と誰がどのような取引をしたかということを記録する役職を設けることとしました。第2にお互いの職業を宣伝しあうこと、第3に、会員同士が自分の仕事や家庭の悩み等、皆で

相談し、精神的に助け合うこととしました。そして第4に会員増強です。「1. 同業者は入会できない。2. 誠実な人間しか入会できない。」この二つの原則によってロータリーは始まり、助け合いながら楽しく1年の歳月が流れました。それは正しく親睦と助け合いだけの仲良しクラブでした。しかし、1906年4月、入会して間もないフレデリック・ツイードに入会を誘われた弁護士ドナルド・カーターはクラブの互惠主義を聞いて「まったく利己的な組織は永続性がない。クラブは市民に対し、何らかの奉仕をすべきだ。」と言いました。これを聞いてポール・ハリスは反省して方針を変更し、職業人の親睦のエネルギーを世の中の為、人の為に使おうと考えました。このポール・ハリスの反省がロータリーの奉仕の概念の誕生となるのです。時間になりましたので続きは、次回にお話します。

ご清聴ありがとうございます。

## ■幹事報告

幹事 田中 寿



①都城ロータリークラブ60周年記念紙とDVDが届いています。

②2014-15年度ロータリー財団委員会の総括報告書がBOXに入っています。

③今年度のテーマバッジをBOXに入れました。以上よろしくお願い致します。

## ■トライアスロン委員会

委員長 片木重光



大会まで、3日となりました。台風が心配です。スイム中止になるかもしれません。皆様には、大変ご足労をおかけ致しますが、

よろしくお願い致します。

■ロータリー勉強会について 委員長 鳥山 浩  
ロータリー勉強会 第9回 開催の案内を致します。



7月29日 18:30～20:30  
ホテルマリックス 2階会議室

講師/橋口正樹ガバナー補佐

会員増強は永遠の課題ですので、多くの参加をお待ちしております。

## 新年度活動方針

■クラブ奉仕委員会 委員長 香川美穂子  
クラブ奉仕委員とはその名の通りクラブ全体に対しての奉仕を役目とするものと私は解釈します。各委員会及び会員の方々の活動全般に目を配り、新会長の今年度の方針をバックアップしたいと思う。なおクラブ奉仕委員会といっても委員長と副委員長の2名組。大先輩の秦副委員長に教を請いながら、組織の隙間を埋めるような活動をしたと思いますのでご協力よろしくお願い致します。



■国際奉仕委員会 委員長 平松 寛  
国際奉仕委員会の平松 寛です。当初は他のメンバーで決定していたようですが、5月もギリギリになって藤原会長から電話頂き、この委員会を引き受けてほしいとの事でした。いろいろ心配がありましたが、苦渋の決断でお引き受けした次第です。つきましては、前委員長の黒木陽子さんや青少年奉仕委員長でローターアクト担当の黒木雄一さんの協力を頂きつつこの仕事を頑張らせて参ります。



活動方針は活動計画書をご覧ください。  
活動計画ですが、台湾龍山RCとの親睦を深め、友好クラブとして更なる信頼関係を築き、来年4月の当クラブ30周年記念招待と5月の龍山クラブ10周年のそれぞれの行事に一人でも多くの会員の参加を呼びかける。

それから、龍山クラブとの交換留学生活動を継続し、RAと協力しながら日台の青少年交流を促進します。

今の段階では公立大RACメンバーから、藤島ユメさん、益田ありささんの二人の学生を交換生

として送り出す予定です。8/19(水)～8/29(土)の予定です。この件につきまして昨日、台北龍山RCより受入れOKの連絡があり、予定通り計画の承認を受諾してもらいました。窓口は黒木青少年奉仕委員長です。又、先方からの交換学生の宮崎訪問は、今回は見送りとなるようです。

それと、関連分野の情報収集と外部卓話又、過去の参加者に其の後の状況報告をお願いする事も考えております。

■社会奉仕委員会 委員長 篠原英介  
前年と同様、宮日美展とひむかかかるたの支援に取り組みます。まず、宮日美展については、クラブ内での設立の目的等の知識を深め、授賞者・受賞作品についてガバナー月信への投稿をし、地区内での周知を図りたいと考えます。原稿にし易い作品だと助かります。



次に、ひむかかかるたについては、ひむかかかるた協会主催の例会(年3回開催)に参加し、協議会以外の活動についてもクラブ内で紹介していきたいと考えます。個人的にいちばんクラブの理念にマッチしていると感じていますので、そのあたりを上手くお伝えできればと考えます。

上記2件について、プレスリリースやクラブのホームページ用の原稿を作成し、少しでもお役にたてればと考えています。

■出席委員会 委員長 草田哲也  
本年度の出席委員会ですが、先ず、6名の委員が交代で出席率の連絡をさせていただきます。また、席についても自由、抽選、委員会毎、あいうえお順などできるだけいろいろなメンバー同士が顔を合わせることができるようことをしていきます。出席率の向上に向けた取り組みですが、出席率の高い宮崎ロータリーよりヒアリングしたところ、委員会ごとや合同委員会等の勉強会兼飲み会を実施しており、それに参加することをメイクアップのような位置づけにされているとのことでした。



こうしたことも含め、今後委員会で様々な検討をした上で、工夫をしていきたいと考えております。

こうしたことも含め、今後委員会で様々な検討をした上で、工夫をしていきたいと考えております。

## 発行/ 宮崎中央ロータリークラブ

●事務局 〒880-0804 宮崎市宮田町10-25 宮田町ビル TEL.0985-22-6767 FAX.0985-22-0288  
●例会場 〒880-8545 宮崎市山崎町浜山 シーガイアコンベンションセンター TEL.0985-21-1155(毎週木曜 12:30～13:30)  
会長/藤原昭公 副会長/香川美穂子 幹事/田中 寿  
クラブ会報委員会/委員長:新地康宏 副委員長:江口徹一 委員:鈴木克信、長友久人、小西明美、川崎幸平